

東京23区では、今日の昼過ぎまで強風や高波に注意して下さい。

今日は、前線を伴った低気圧が日本の東を東に進み、昼過ぎには上空の気圧の谷が通過する見込みです。

このため、関東甲信地方は全般に曇りで、雨や雪の降る所があるでしょう。

明日は、本州付近は次第に西高東低の冬型の気圧配置となる見込みです。

このため、関東甲信地方は全般に曇りで夜遅くには晴れてくる見込みです。長野県北部や関東地方北部の山沿いでは雪が降るでしょう。

伊豆諸島では引き続き明日にかけて、小笠原諸島では今日の夕方から明日にかけて、波やうねりが高いでしょう。船舶等は高波に注意して下さい。

【 土日のお天気 】

	13日 (Sat)		14日 (Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌	☉→*	- 3/- 8	☉/ *	- 1/- 7
秋田	☉→*	1/- 6	☉/ *	1/- 4
仙台	○//☉	2/- 4	○//☉	4/- 3
宇都宮	☉//○	6/- 2	○→☉	7/- 3
東京	☉/ ●	6/ 1	○→☉	8/ 1
横浜	☉	5/ 1	○→☉	9/ 1
長野	☉	1/- 5	○→☉	2/- 5
静岡	☉→○	9/ 3	○→☉	9/ 1
名古屋	○	9/ 1	○→☉	8/- 1
新潟	☉→*	1/- 3	☉/ *	3/- 1
金沢	☉→*	4/ 0	☉	6/- 1
大阪	○//☉	9/ 3	○→☉	9/ 1
神戸	○//☉	9/ 3	○→☉	9/ 2
広島	○//☉	10/ 0	☉→●	10/ 2
松江	☉//*	7/ 1	☉→●	10/ 1
高松	○//☉	9/ 1	☉→●	9/ 2
高知	○	11/ 2	☉→●	11/ 2
福岡	☉	10/ 3	☉→●	11/ 4
鹿児島	☉→○	15/ 6	☉→●	13/ 6
那覇	☉→○	17/ 15	☉→●	22/ 15

(○:晴れ, ☉:くもり, ●:雨, *:雪→:のち, //:時々, /:一時)

【 お天気モード 】

「 **やはり出てきたIPCCの報告書に作為の記述** 」 2010年2月8日より編集

1月24日付け英紙デリー・メール電子版が、**IPCCの記述の重大な誤りについて報じました。**

【 ヒマラヤの氷河消失は誤り 】

国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第4次評価報告書において、科学的立証がないのに「**ヒマラヤの氷河が2035年までに消失する可能性が非常に高い**」といった**誤った記述**が含まれていました。

【 インド人研究者のムリ・ラル博士の作為 】

1. 同博士は、作業部会でアジア編を担当した。
2. 「**この部分を強調できれば政策決定者や政治家に衝撃を与え、しっかりした対応を取るよう働きかけることができると考えていた**」と述べていた。
3. 参考文献にした**世界保護基金(WWF)の報告書が科学的に検証されていない「あいまい(grey)な文献**」と知っていた。

【 評価が疑われているIPCC報告書の中身 】

1. 科学者の集まりである報告書は、温暖化をめぐる国際交渉の基礎資料になっている。
2. 多数の論文をもとに作られていることから、人為影響による温暖化を強調した骨格部分が覆ることにはなならないが、政治的中立性を疑う見方が強まるとみられる。
3. 2009年11月には、温暖化を強調したとも受け取られる研究者間のメールのやり取りが盗み出される騒ぎが起きた。

(朝日新聞1月26日 より編集)

【 感想 】

本記事の誤りは、既にわが国の高名な**地質学者の丸山教授(東工大)**が**自身の著者などで指摘**しています。新しいニュースではありませんが、第三者の英紙が報じたことは大いなる意義のあることだと評価いたします。

数年前に大ヒットした、元アメリカ副大統領制作の環境映画「**不都合な真実**」の**かなりの部分が、この誤りに基づいて作成**されています。実は、もっと政策的な厳しい事情があるようです。このことは証明できないので、軽く触れておきましょう。温暖化ではなくこの政策的な意図こそが、実は「不都合な真実」のタイトルの意味だったのではないかと思うこのごろです。

小沢幹事長の問題といい、人はテレビや新聞で何度も流されている情報を、いつの間にか真実と思い込み、その反対意見や情報を怪訝な顔で排斥していることが分かります。意外に、確かな事実に基づきそれを現場検証を行った上で報道されている情報ではないことに、そろそろ気づく必要があるということを警鐘している記事でした。分かりやすいことはCMです。何度も繰り返し見たり聞いたりするうちに、自然に口か

らでくるあのメロデーや言葉があります。これを**刷り込み**と言います。ためにする、正しくない考えや情報に左右されない生き方は実は難しいことを感じています。本記事が日本のマスコミではなく英国のマスコミだったことは残念ですね。

気候はどのようなスパンで物を言うのかで、異なるデータはいくらでも出せ有利な証拠や解説も可能となるものです。ただし、そのことが絶対的な真実ではないとい事実をしらなければならないでしょう。今年の新潟の豪雪を見ていると、地球温暖化の話に素直には頷けないですね。

省エネ推進ソリューション)

水道水は貴重な資源です [トータル節水システム](#)
CO2 削減<経費削減は [省電力システム](#)
火災に気をつけましょう [消棒シリーズ](#)

【 e健康生活 】

「 朝青龍引退に思う 」

2010年2月5日の日記より

朝青龍が知人への暴力の責任をとって潔く引退した。
横綱の胸の内を想うと、やるせない。

事実関係は依然未確認かつ不詳のままなのに、日本相撲協会は横綱審議委員会への配慮を最優先したものだろう。
事実が分からないので、推測の域をでないのが、誠に残念だ。

暴力はもちろんいけない。
しかし、マスコミの報道は、本当にフェアだったのか、大いに疑問に思っている。
事件を起こしたとされる(確定でない段階から)横綱をヒール扱いのバッシングが酷い。
昨今は、マスコミのサディスティック気味の嫌な風潮が加熱し、そのことを各テレビ局の解説者が競い合っているようで、見苦しく、必要以上に視聴者を不安に陥れている。

元横綱は確かにこれまでの大相撲会の規格外の問題児だ。
これは情けないと感じる言動も多々あった。
しかし、その負の面をことさら取り上げて、**無気力の土俵にスピードとモンゴル相撲で鍛えた様々な技の多さと切れ味を吹き込んだ貢献度の高さ**を無視し、無抵抗の状態のまま被告席においたような追い詰め方は納得できない。

いつから、わが国はこんなに他人の言動に寛容さがなくなってしまったのか。
それほど、マスコミは公明正大な正義感や真実を把握しているとも思えない。
こんな幕引きなら、大相撲は国技などと言ってはならないだろう。
少しは、テニスのウインブルドン大会の公正さと英国流大人のスポーツ運営方法の詰めのアカでも齧ってほしい。

日本相撲協会の不透明さとだらしなさは、世の人々の周知のこと。

協会自らの改善改革なく理事会の責任も不問のままに、安直に大相撲界の現役力士トップの首を切ったのは、大相撲会の汚点として長く記録し記憶されるに違いない。

来場所から、子供のころから欠かすことのなかった、大相撲テレビ観戦も気が乗らなくなってしまった。テレビに顔を出す薄っぺらな漫画家コメンテーターを担ぎ出し、大相撲界にはまともな定見もなくしっかりした人物がいないことを満天下に示してしまった。全く情けない処理だ。語るに落ちるとはこのことだと、今になって気づいてしまった。

念のために記しておくが、元横綱の罪(とされている)ことに目をつぶれということではない。

最後に、このドタバタ劇が日本とモンゴルの交流や外交に悪影響を与えないように祈っている。何れにしろ、**大草原の暴れん坊横綱が、土俵から永遠に消え去ってしまったという事実はずらく重い。**

マイ・ソリューションのご案内)

健康な体の基本は水素豊富水 **新元祖活性水素くん**
外出後やお肌のナイトケアにもサイコーです

【 WISからのお知らせ 】

***** 天気で元気! *****

世界初 「ソリューションする気象会社」

防災メールなら **地震番**

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

トータル節水システム (**経費節減効果NO1**)

http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj

たのしい競馬に **「馬場コンディション情報」**

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ **「ミスター防災」**

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 **「直売所NOW」**

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 **「ウェザー&ビューティ」**

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>
